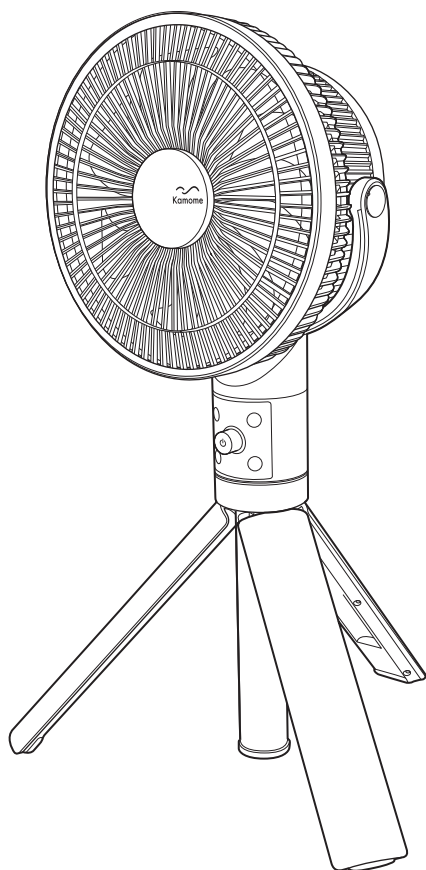


取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P1～P2
各部の名称とはたらき	 P3
正しい使いかた	 P4～P12
お手入れと保存	 P13～P14
修理・サービスを依頼する前に	 P15～P16
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	 P18
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	DC24V ACアダプター (付属)
消費電力	約10W (ACアダプター使用時)
ACアダプターコード長さ	約1.8 m
外形寸法	約 幅 36.5 × 奥行き 32 × 高さ55.5～62 cm (脚部展開時)
質 量	約2kg (本体のみ・リモコン・ACアダプター含まず)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

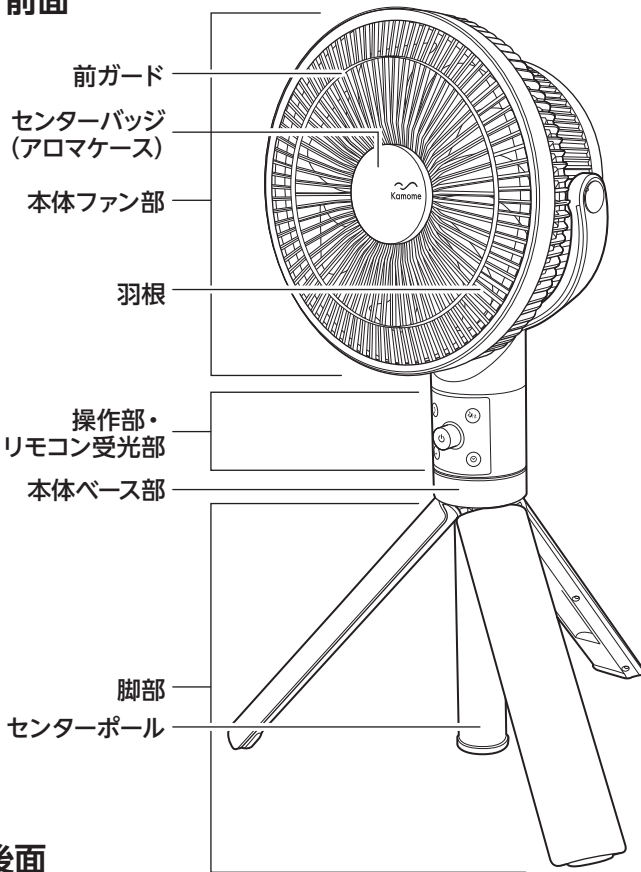
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	付属の専用ACアダプター以外は使用しない。 火災・感電の原因になります。				
	製品のお手入れの際は、ACアダプターをコンセントに差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。				
	電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		お手入れ後、羽根とガードをしっかり固定する。 締め付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
			リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	 水ぬれ禁止	

注意

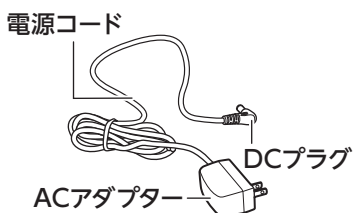
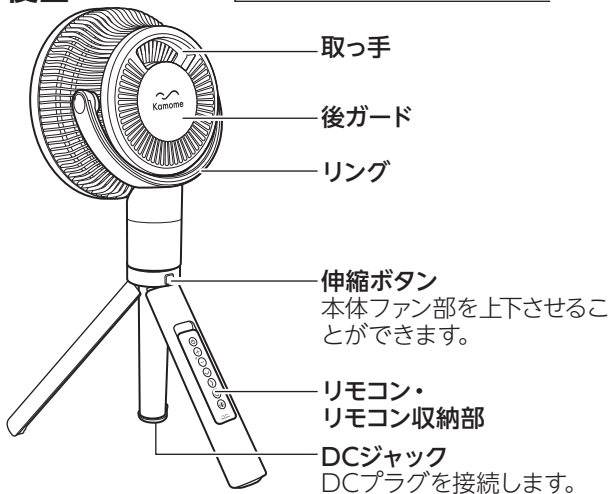
 指示	ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。	 禁止	髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。
	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		本体を引きずらない。 床が傷つく原因になります。		首ふり動作中の本体を無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になります。
	脚部をたたむとき、高さの調節をするとき、指などはさまないように十分注意する。 けがの原因になります。		ガードの中に指などを入れない。 けがの原因になります。		脚部の開閉時に指などはさまない。 けがの原因になります。
	必ず脚部を十分に開いて、脚部すべてを接地させるように設置する。 中途半端な設置では転倒の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になります。		

各部の名称とはたらき

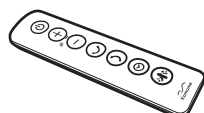
前面



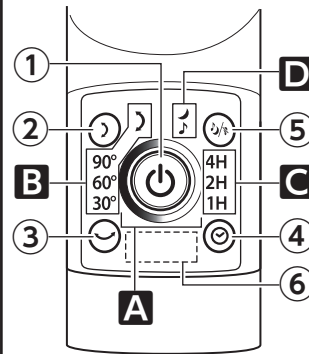
後面



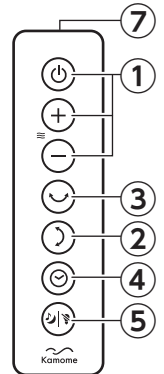
リモコン



本体操作部



リモコン



操作ボタン

- ① **電源ボタン・風量調節つまみ (本体)**
運転を開始／停止、運転中の風量を調節します。
+ **風量調節 強ボタン (リモコン)**
運転中の風量を強く調節します。
- **風量調節 弱ボタン (リモコン)**
運転中の風量を弱く調節します。
- ② **上下首ふりボタン**
上下首ふり運転を開始／停止します。
- ③ **左右首ふりボタン**
左右首ふり運転を開始／角度設定／停止します。
- ④ **タイマーボタン**
入・切タイマーの時間を設定します。
- ⑤ **リズム／おやすみ風ボタン**
♪リズム風／🌙おやすみ風機能の切り替えをします。
- ⑥ **リモコン受光部 (本体)**
リモコンの信号を受光します。
- ⑦ **送信部 (リモコン)**
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。

表示部

A 風量表示インジケータ

風量を表示します。風量が強くなるにつれて、右上から点灯する光の線が長くなっていき、最大風量で一周する円形に点灯します。

B 首ふり表示 30°、60°、90°、)

首ふり運転をしているときに左右首ふりの角度と上下首ふりを表示します。

C タイマー表示 1H、2H、4H

入・切タイマーのタイマーが作動するまでの時間を表示します。

D リズム／おやすみ風表示

リズム風のときは♪、おやすみ風のときは🌙が点灯します。

正しい使いかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	コイン形リチウム電池 (CR2025)	1個
ACアダプター	1個	交換用フェルト (アロマケースに1個・取付済)	4個
リモコン	1個	取扱説明書 (保証書含む)	1個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要なですので捨てないでください。

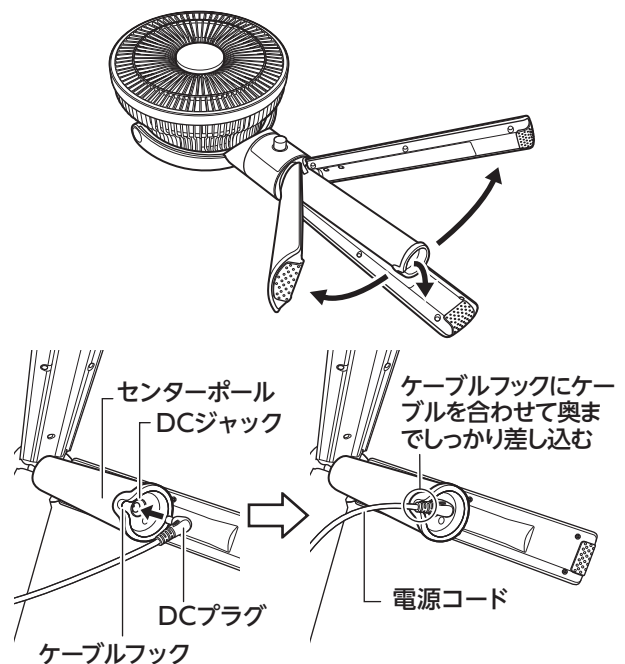
警告	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。
注意	・ガードと羽根をしっかりと固定してからACアダプターをコンセントに差し込む。 ・脚部を正しく設置してから使用を開始する。 ・設置して脚部を開閉させるとき、指などはさまないように注意する。 けがの原因になります。

使用前の準備

1. 本体を倒してテーブルの上などに置き、脚部を開いてセンターポールの端にACアダプターのDCプラグを取り付ける

- ・ACアダプターのDCプラグを本体のセンターポールの端のDCジャックに差し込んでください。
- ・ケーブルフック (溝) にケーブルがはまるように向きを合わせて、DCプラグを奥までしっかり差し込みます。

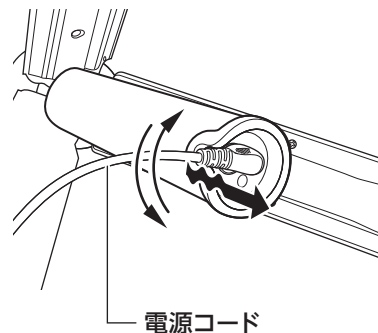
警告	ACアダプターの電源コードは、必ず本体ベース部のケーブルフックにはめる。 ケーブルフックにはめないと、はずれやすくなり、火災・事故・故障の原因になります。
-----------	--



DCプラグを取りはずすとき

DCジャックからDCプラグを取りはずしにくいときは、電源コードのDCプラグに近い部分を左右に振りながら引くと取りはずしやすくなります。

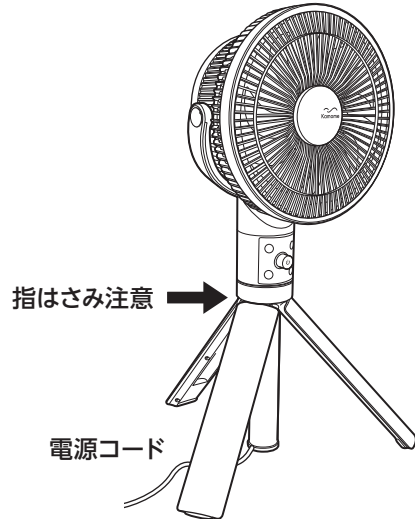
注意	電源コードを振りすぎない。 コードが傷み、故障の原因になります。電源コードを振るときは必要なときだけ、最小限にしてください。
-----------	---



正しい使いかた (つづき)

2. そのまま本体を持ち上げて立てて水平な安定した場所に設置する

- 取っ手を持って移動させてください。
- 3つの脚部を完全に開き、3つとも接地させてください。
- センターポールを脚部の代わりにしないでください (正しく設置すると、センターポールは床面から5~10mm離れています)。



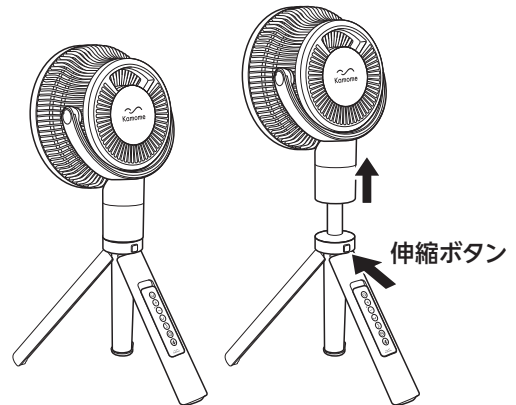
注意 本体を転倒させ、スタンドが急に閉じると怪我をする可能性があります。夜間の使用時には、設置場所にご注意ください。

3. 本体後面にある伸縮ボタンを押して、高さを調節する

- 伸縮ボタンを押しながら本体ファン部を上下させます。
- 本体ベース部より上が上下します。



注意 本体ファン部を上下させるとき、指などはさまないように注意する。



4. リモコンに電池を入れる

1. リモコンを裏返して電池ボックスを引き出す①
電池ボックスをすきまから引き出します。
2. コイン形リチウム電池を、電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスに入れる②
電池の⊕側を上に入れてください。
3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③
カチッと音がするまで差し込んでください。



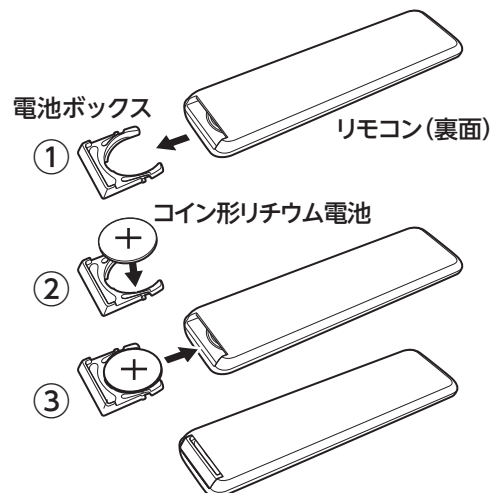
- 長時間使わないときは電池を取りはずす。
- ⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

伸縮ボタンで高さを調節することができます。

- 伸縮ボタンを押しながら本体ベース部・脚部を押さえ、取っ手を持ち上げて高さを調節してください。
- 一番上と一番下にはロックがあります。

使用可能範囲

- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物があるときは、リモコンが正常に動作しないことがあります。



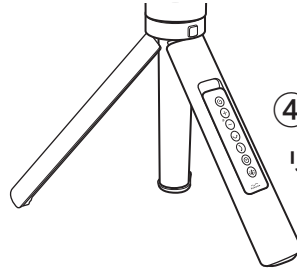
リモコンを使用しないとき

4. リモコンを使用しないときは後方の脚部にある、リモコン収納部に取り付けておく④

※ 収納部に取り付けた状態でリモコン操作はできません。

5. ACアダプターをコンセントに差し込む

正しくDCジャックが接続されていると、本体からピッピッと音がします。



リモコンは、後方の脚部にある、リモコン収納部に取り付けておくことができます。

④

リモコン収納部

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量、首ふり角度で運転を開始します。
- ACアダプターをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押したときには、最も弱い風量、首ふりなしで運転を開始します。

メモリー機能

本体またはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり角度）。

※ACアダプターをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量：最も弱い風量、首ふり：なし。

[風量を強く調節する]

本体の風量調節リングを右に回す。

リモコンの + 風量調節 強ボタンを押す。

押し続けることで順に強くなっていきます。



[風量を弱く調節する]

本体の風量調節リングを左に回す。

リモコンの - 風量調節 弱ボタンを押す。

押し続けることで順に弱くなっていきます。



減光モード

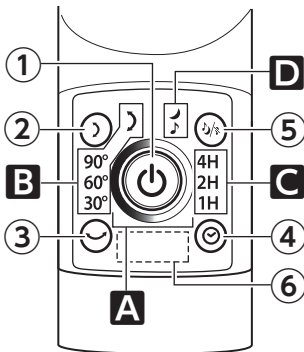
本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モード（20%程度の明るさ）になります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

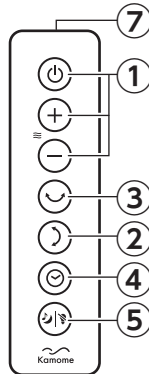
本体またはリモコンの 🌙 リズム・おやすみ風ボタンを長押し（3秒以上）すると、 🌙 消灯モードが設定され点灯・点滅するランプを消灯させることができます。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプが点灯・点滅します。

正しい使いかた (つづき)

本体操作部



リモコン



- ③ 〰 左右首ふりボタン
左右首ふり運転を開始／角度設定／停止します。
- ④ 〰 タイマーボタン
入・切タイマーの時間を設定します。
- ⑤ 〰 リズム／おやすみ風ボタン
リズム風／おやすみ風機能の切り替えをします。
- ⑥ リモコン受光部 (本体)
リモコンの信号を受光します。
- ⑦ 送信部 (リモコン)
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。

表示部

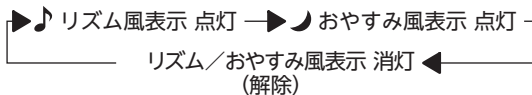
- A 風量表示インジケータ**
風量を表示します。風量が強くなるにつれて、右上から点灯する光の線が長くなっていき、最大風量で一周する円形に点灯します。
- B 首ふり表示** 30°、60°、90°、
首ふり運転をしているときに左右首ふりの角度と上下首ふりを表示します。
- C タイマー表示** 1H、2H、4H
入・切タイマーのタイマーが作動するまでの時間を表示します。
- D リズム／おやすみ風表示**
リズム風のときは、、おやすみ風のときは、が点灯します。

操作ボタン

- ① 〰 電源ボタン・風量調節つまみ (本体)
運転を開始／停止、運転中の風量を調節します。
- + 風量調節 強ボタン (リモコン)
運転中の風量を強く調節します。
- 風量調節 弱ボタン (リモコン)
運転中の風量を弱く調節します。
- ② 〰 上下首ふりボタン
上下首ふり運転を開始／停止します。

2. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。
※ 設定された リズム風表示／ おやすみ風表示が点灯します。

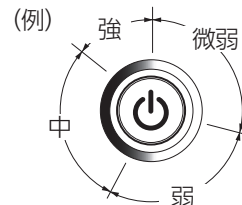


リズム／おやすみ風機能について リズム風 (リズム風表示が点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
本体の風量調節つまみまたはリモコンの + 風量調節 強ボタンと - 風量調節 弱ボタンで調節した風量に合わせて、風量パターンが変化します。

おやすみ風 (おやすみ風表示が点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
本体の風量調節つまみまたはリモコンの + 風量調節 強ボタンと - 風量調節 弱ボタンで調節した風量に合わせて、風量パターンが時間とともに変化します。



- (強時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。
 - (中時) 中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。
 - (弱時) 弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。
 - (微弱時) 微弱リズム風と同じです。
- ※ 風量表示インジケータは、設定したときの表示のままになります。

角度の調節

本機は手動で上下左右の角度を調節することができます。

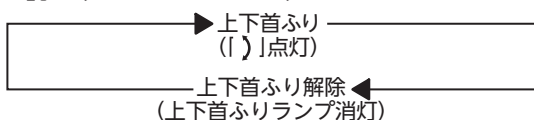
3. 首ふり運転を開始／停止する

上下・左右同時に首ふり運転をすることが可能です。運転中に本体またはリモコンの「上下首ふりボタン」と「左右首ふりボタン」で切り替えます。

上下の首ふり

運転中に本体またはリモコンの「上下首ふりボタン」を押すと、上下首ふり運転を開始します。

- ・正面から真上まで約 90 度の範囲で首をふります。
- ・ファン部のみが動きます
- ・本体の上下首ふりランプで上下首ふり運転の確認をすることができます。



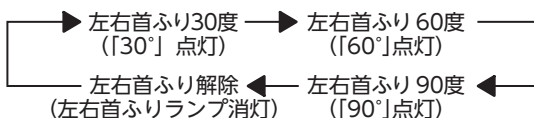
もう一度「上下首ふりボタン」を押すと、上下首ふり運転を停止します。

上下首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。かかる時間は、その首ふり開始角度によって変わります。

左右の首ふり

運転中に本体またはリモコンの「左右首ふりボタン」を押すと、左右に首ふり運転を開始します。

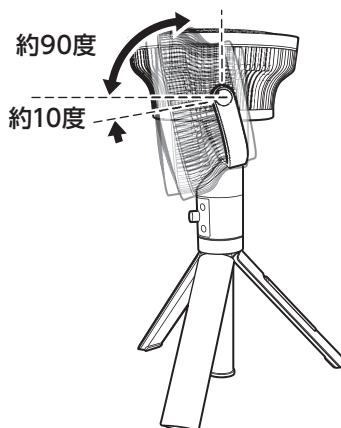
- ・ベース部より上のファン部のみが動きます。
- ・本体の左右首ふりランプで首ふり運転の確認をすることができます。「左右首ふりボタン」を押すたびに、首ふりの角度が変わり、左右首ふりランプが切り替わります。



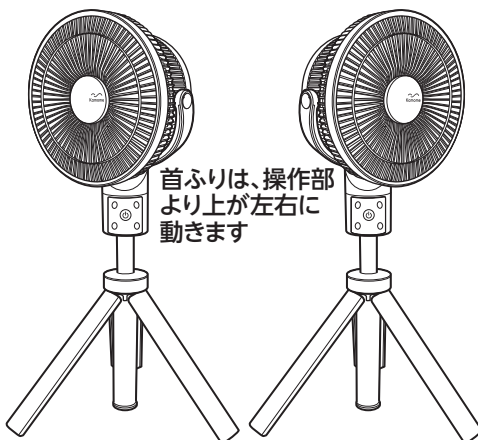
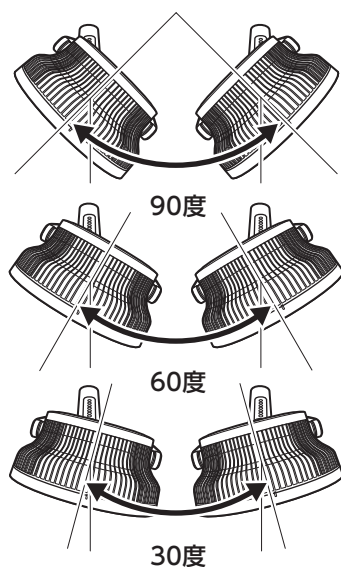
左右首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。かかる時間は、その首ふり開始角度によって変わります。

- ・左右首ふり運転を停止するときは、「左右首ふりボタン」を何度か押して、左右首ふりランプが消灯したことを確認してください。

首ふり角度



下向きに約10度、上向きに約90度の角度をつけることができます。ポールの上端を支え、前ガードの上端または下部を押して、ゆっくり上下に動かします。



正しい使いかた (つづき)

4. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの $\odot$ 電源ボタンを押すと、運転を停止します。

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を自動的に停止します。

5. ACアダプターをコンセントから抜く



使用後はACアダプターをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。



- 長時間ご使用にならないときは、節電のためにもACアダプターをコンセントから抜く。
待機電力が発生しなくなり、省エネになります。
- 運転中に、停電やACアダプターが抜けたときは、始めから操作をやり直す。
運転が停止し、すべての設定が解除されます。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に $\odot$ タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押すと、1Hタイマー表示が点灯し、切タイマーが設定されます。

切タイマーの動作時間は本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押して設定することができます(1H~4H)。

- タイマー表示を確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- タイマー表示は切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを何回か押して、タイマー表示を消灯させます。

Q: 左右首ふりで中心からずれて首をふる場合は?

例) 首ふりが製品の中心から右または左に寄って首ふりする。

A: 手動で首ふり中央を合わせてください

本機には手動首ふり機能があり、製品の中心から左右各約30度、10度さざみで調節できます。この位置が本機の中心にないと、自動首ふりの位置がずれて動作します。

手動首ふり中央の合わせかた

運転停止状態でACアダプターをコンセントから抜き、操作部・本体ベース部を押さえ、本体上部を首ふりの右方向または左方向へ止まるまで回します(10度ごとに「カチッ」と音がします)。

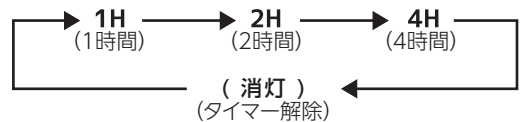
止まった位置から3段階戻すと、本機の中心になります。

中心を合わせたあと、ACアダプターをコンセントに差し込んでから、本体またはリモコンの $\odot$ 電源ボタンを押して運転を開始させ、 $\sim$ 首ふりボタンを押すと、左右等分に首ふり運転をします。

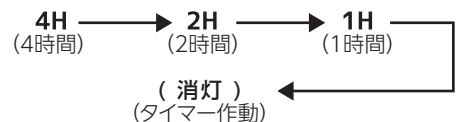


タイマー表示について

タイマー表示は、本体またはリモコンの $\odot$ タイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。



入・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマー表示が移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



タイマー表示は、切タイマーのときは点灯、入タイマーのときは点滅します。

※切タイマーと入タイマーを同時に設定することはできません。

入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。



入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。

子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⊙タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを押すと、タイマー表示が点滅し、入タイマーが設定されます。

- ・直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→6ページ）。

入タイマーの動作時間は⊙タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマー表示は入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

本体の⦿電源・風量調節つまみ、リモコンの＋風量調節 強ボタンや－風量調節 弱ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します。風量表示インジケーターが点滅します。

- ・～首ふりボタン、♪リズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- ・設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの⊙タイマーボタンを何回か押して、タイマー表示を消灯させます。

正しい使いかた (つづき)

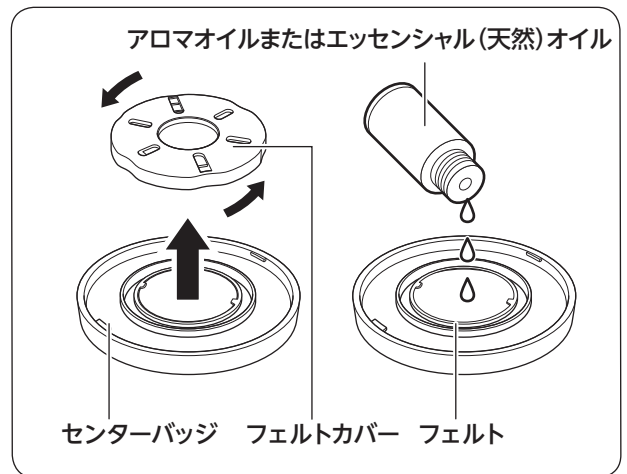
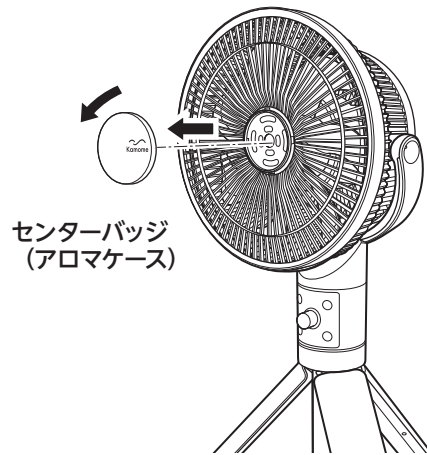
アロマオイルの使いかた

1. 前ガードに取り付けられているセンターバッジ(アロマケース)をはずす

センターバッジ(アロマケース)を左に回して、手前に引いてはずします。

2. フェルトカバーを取りはずし、センターバッジ(アロマケース)に取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

センターバッジ(アロマケース)からフェルトカバーを左に回して取りはずし、フェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。



⚠ 注意

- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルをセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部からあふれるまで入れすぎない。
- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがセンターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側に付着したときは必ず拭き取る。
- ・センターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態で取り付けない。
- ・本製品専用のフェルト以外は使用しない。本体の破損・故障の原因になります。

3. フェルトカバーを取りつけて、元の位置にセンターバッジ(アロマケース)を取り付ける

フェルトカバーをセンターバッジ(アロマケース)に右に回して取り付けます。さらにセンターバッジ(アロマケース)を前ガードに右に回して取り付けます。

4. 運転を開始する

6ページの「運転を開始／停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

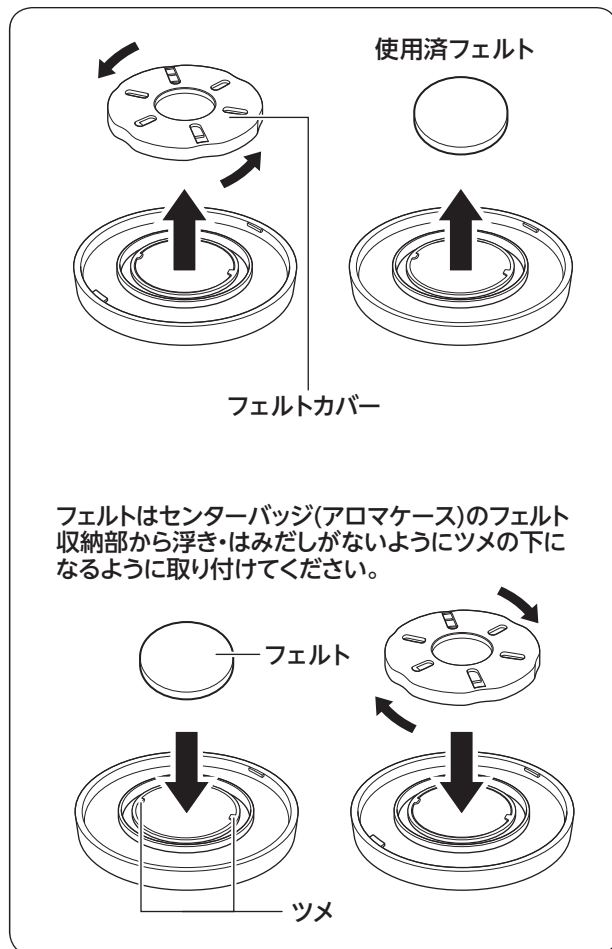
フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトの交換のときは、フェルトカバーを左に回してはずします。その後、フェルトを取りはずし、フェルトを交換します。
- ※ フェルトは必ず図のように、ツメの下になるように取り付けてください。フェルトカバーを右にまわして取り付けてください。
- ※ フェルトはご購入時にセンターバッジ（アロマケース）に取り付けられているもの以外に3枚付属しています。フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはセンターバッジ（アロマケース）のフェルト収納部のツメの下になるように取り付けてください。センターバッジ（アロマケース）は中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってください。

交換用フェルト

交換用のフェルトは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

- ※ フェルトは消耗品ですので、保証期間中でも有償となります。



交換用フェルト

商品名 フェルト (4枚)

型番 AF-ZE1

¥500 (税抜)



注意

取りはずしたフェルトの扱いに注意する。

アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルはプラスチックを溶かしたりすることがあります。大切なものを取りはずしたフェルトに触れさせると、傷つけてしまうこともありますので十分注意してください。

アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルなどについて

- ・ 炎に近づけないでください。
- ・ 子供の手の届かない場所に保存してください。
- ・ 衣服などに付着したときは、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- ・ 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- ・ 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。

お手入れと保存



お手入れのときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体・ACアダプターに水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

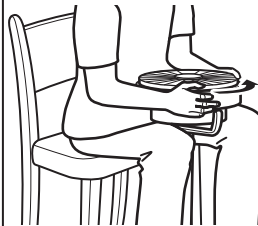
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

羽根のお手入れ

本体の内部の羽根などのお手入れは、前ガードを取りはずして行ないます。できるだけ二人で行ない(おさえる人とはずしたり取り付ける人)無理な力を本体にかけないようにしてください。

前ガードの上手なはずしかた

[大型の扇風機は、本体台座部とファン部を分離してください]



- ① 扇風機を上に向け、ファンの下を脚に挟みます。
※衣服が汚れないよう注意してください。
- ② 指先を湿らすか、薄手の濡れタオルを手にかぶせて、前ガードの外周を滑らないように持ちます。

③ 前ガードを反時計回りに回転させます。

④ 前ガードの外周がカチッと2cmほど回ったら、ロックがはずれます。

⑤ 前ガードを上を持ち上げてはずしてください。



羽根とガードを取り付けずに運転をしない。



- ・ガードと羽根をしっかりと固定してからACアダプターをコンセントに差し込む。
- ・羽根のエッジなどでけがをしないよう、十分に注意する。

羽根・前ガードの取りはずしかた

1. 前ガードを全体的に左に回す①



前ガードを強く回しすぎないようにする。
破損・故障の原因になります。

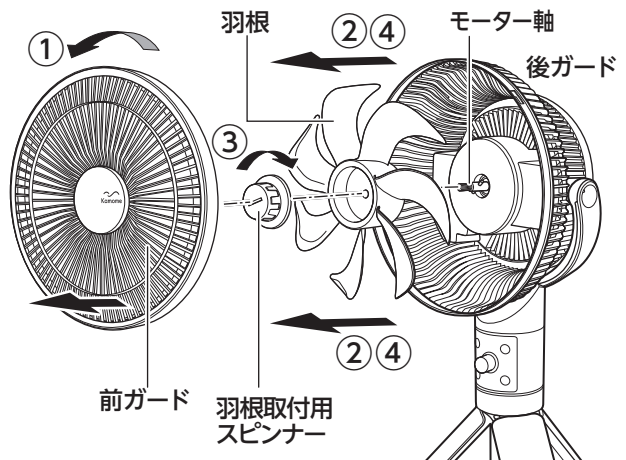
2. 回らなくなったところで前ガードを全体的に引き出す②

3. 羽根を押さえながら、羽根取付用スピナーを右に回してはずし③、羽根を手前に引いてはずす④

羽根取付用スピナーは、通常と逆の構造になっており、左回しで取り付け、右回しで取りはずしになります。

※後ガードは取りはずすことができません。後ガード内部には電気配線などがあるため、お手入れするときは、十分に注意してください。

※お手入れのあとは十分乾燥させてください。



羽根・前ガードの組み立てかた

1. 羽根をモーター軸のピンに合わせて取り付ける①

羽根のピン固定部とモーター軸根元のピンを合わせて取り付けます。

2. 羽根を押さえながら、羽根取付用スピナーを左に回して羽根を固定する②

羽根を押さえ、羽根取付用スピナーを「左」に回してしっかりと羽根を締め付けます。

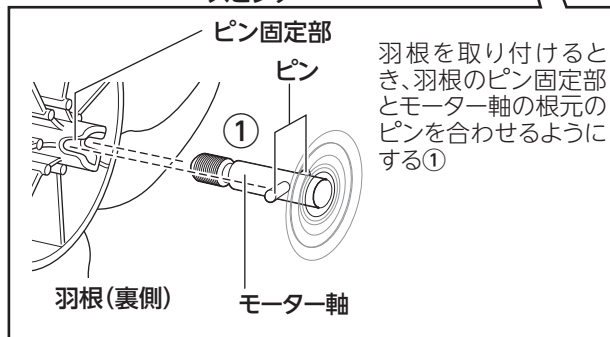
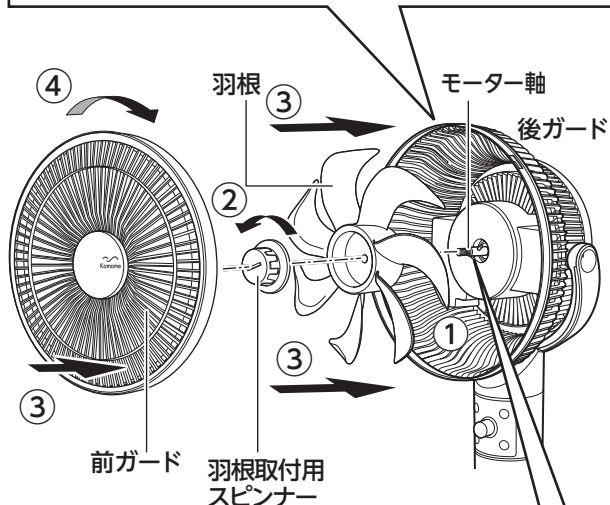
3. 前ガード凹部を後ガードの目印に合わせて取り付け、前ガードを全体的に押し込む③

前ガード凹部を後ガードにあるU字型凹みの目印に合わせて押し込んでください。

4. 前ガードを全体的に右に回す④

前ガードを全体的に、動かなくなるまで右に回してください。

取り付けが中途半端だと、はずれてきたり、異音の原因になります。



注意

前ガードを強く回しすぎないようにする。
破損・故障の原因になります。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱に入れるとき、前もって首ふり機能で前を向くように調節しておく必要があります。
- 長期間使用しないときは、リモコンから電池を取りはずしておいてください。

※ 脚部を閉じて、高さを低くするとコンパクトに収納できます。安定して自立しないため、倒れて破損しないよう注意してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人 は 分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・ ACアダプターのDCプラグがDCジャックから抜けている	ACアダプターのDCプラグを接続をDCジャックに差し込む
	・ ACアダプターがコンセントから抜けている	ACアダプターをコンセントに差し込む
羽根がまわらない	・ 羽根が正しく取り付けられていない ・ 羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付け (「羽根・前ガードの組み立てかた」14ページ)
風量表示インジケータや表示などが点灯・表示していない	・ 消灯モードになっている	本体またはリモコンの  電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る
表示部・ランプが暗い	・ 最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	本体またはリモコンの  電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る
突然運転が止まる	・ 切り忘れ防止機能がはたらいっている	本体またはリモコンの操作ボタンを押して電源を入れる
本体が倒れる	・ 脚部を正しく開いていない ・ 接地していない脚がある	脚部をすべて開き、3つすべてを接地させる
	・ センターポールを持ち上げている障害物がある	障害物を取り除く
異音がる	・ 羽根が正しく取り付けられていない ・ 羽根がガードに当たっている ・ 前ガードが正しく取り付けられていない	羽根やガードを正しく取り付け (「羽根・前ガードの組み立てかた」14ページ)
	・ 羽根取付用スピナーがゆるんでいる	羽根取付用スピナーを締めつける (「羽根・前ガードの組み立てかた」14ページ)
	・ 不安定な場所に設置している ・ 本体ファン部を伸縮ボタンで高い位置にしている ・ 不安定な場所に設置したり、高い場所に設定すると揺れが大きくなり、騒音の原因になります	・ 安定した場所に設置する ・ 本体ファン部を低くしてみる
首ふりボタンを押すと、すぐに動き出さない・最初に指定角度よりも大きく首ふりをする	・ 故障ではありません (内部の回路が現在の位置関係を確認するために、最初の1回の首ふりはすぐに動かなかったり、大きく首ふりをしたりします)	正常な首ふりが開始されるまでお待ちください

症状	主な原因	処置
ボタンを押してもランプが点滅して動作しないことがある	・ 入タイマー設定の状態になっている	タイマーボタンを何回か押して、入タイマーを終了させる
リモコンから操作できない	・ リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・ リモコンの電池が逆に入っている	電池を正しく入れる
	・ リモコン収納部に取り付けたまま操作している	リモコンの送信部をリモコン受光部に向けて、使用可能範囲で操作する
	・ リモコン受光部に向けて操作していない	
	・ リモコン受光部までの距離が遠い	

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から 1 年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは



警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめてACアダプターを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持ち込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

●補修用性能部品について

1. 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年間です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井第2家電サービスセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社ドウシシャ

www.doshisha.co.jp